



## 資料編

- 
- 1 とちぎ未来創造プランの策定経過
  - 2 栃木県次期プラン策定懇談会
  - 3 栃木県議会次期プラン検討会
  - 4 県民意見の反映等
- 〈参考〉 成果指標一覧
-

# 1 とちぎ未来創造プランの策定経過

とちぎ未来創造プランは、県民の皆様をはじめ、市町長、各分野からの有識者等で構成する「栃木県次期プラン策定懇談会」(委員：37名、5部会設置)の御意見や「栃木県議会次期プラン検討会」(委員：13名)の御提言等を踏まえ、策定しました。

年月日	栃木県	栃木県議会
<b>2019年</b>		
5月13日	栃木県次期プラン策定要綱の制定 栃木県次期プラン策定懇談会設置要綱の制定	
5月16日	市町との意見交換(とちぎ地方創生連絡会議)	
5月21日		次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会
5月28日		次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会
6月-7月	2019年度県政世論調査の実施	
8月 5日		次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会
8月 6日	市町との意見交換(とちぎ地方創生連絡会議)	
8月28日	市町との意見交換(とちぎ地方創生推進会議)	
9月 5日		次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会
10月 8日		次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会
10月30日		次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会(全)
11月 7日	第1回栃木県次期プラン策定懇談会	
11月15日	市町との意見交換(とちぎ地方創生連絡会議)	
11月21日		次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会
12月 9日		次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会
12月16日		知事へ「次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会報告書(次期プラン)」を提出
<b>2020年</b>		
2月 3日	第2回栃木県次期プラン策定懇談会	
2月 6日		次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会(全)
2月12日	市町との意見交換(とちぎ地方創生連絡会議)	
2月14日-3月13日	第1次素案に対するパブリック・コメントの実施	
3月24日		次期プラン検討会
4月27日		次期プラン検討会
5月 8日	市町との意見交換(とちぎ地方創生連絡会議)	
6月 8日		次期プラン検討会
6月	第3回栃木県次期プラン策定懇談会(書面開催)	
6月30日	市町との意見交換(とちぎ地方創生推進会議)	
8月 4日		次期プラン検討会(全)
8月6-7日	第1回栃木県次期プラン策定懇談会部会	
9月10日		次期プラン検討会
9月14日	市町との意見交換(とちぎ地方創生推進会議)	
10月 1日		次期プラン検討会
10月 9日		知事へ「次期プラン検討会報告書」を提出
10月14・15・16日	第2回栃木県次期プラン策定懇談会部会	
11月16日		次期プラン検討会
11月19日	第4回栃木県次期プラン策定懇談会	
12月 1日	市町との意見交換(とちぎ地方創生推進会議)	
12月 4日-1月 4日	第2次素案に対するパブリック・コメントの実施	
<b>2021年</b>		
1月26日		次期プラン検討会(全)
1月	第5回栃木県次期プラン策定懇談会(書面開催)	
2月 3日	「とちぎ未来創造プラン」の決定・公表	

※各種調査はP107に記載

※(全)は全議員検討会

## 2 栃木県次期プラン策定懇談会

### 委員一覧

(五十音順、敬称略)

#### 会 長

須賀 英之 宇都宮共和大学・宇都宮短期大学 学長

#### 会長代理

中村 祐司 宇都宮大学地域デザイン科学部 教授 [人材育成部会(部会長)]

#### 委 員

浅野 裕子 一般社団法人スリーアクト 代表理事 [健康・共生部会]  
 池田 裕一 宇都宮大学地域デザイン科学部 教授 [安全・安心部会(部会長)]  
 石塚 勇人 公益財団法人栃木県国際交流協会 参与 [産業・成長部会]  
 井田 治美 日本労働組合総連合会栃木県連合会 副会長・女性委員会委員長 [健康・共生部会]  
 岩村由紀乃 株式会社下野新聞社 編集局 地域センター長兼地域報道部長【～2020年5月】  
 大森 宣暁 宇都宮大学地域デザイン科学部 教授 [環境・地域部会(部会長)]  
 大山 眞一 公募委員 [人材育成部会]  
 大山 知子 一般社団法人栃木県老人福祉施設協議会 会長 [健康・共生部会]  
 金子 裕美 鹿沼市森林組合 副組合長 [安全・安心部会]  
 川津 博亨 一般社団法人栃木県歯科医師会 副会長 [健康・共生部会]  
 君島 理恵 塩原温泉観光協会 副会長 [産業・成長部会]  
 五艘みどり 帝京大学経済学部 准教授 [環境・地域部会]  
 児玉 博昭 白鷗大学法学部 教授 [産業・成長部会(部会長)]  
 小森 孝子 栃木県保育協議会 副会長 [人材育成部会]  
 小山さなえ 山梨学院大学スポーツ科学部 教授 [人材育成部会]  
 佐藤 信 栃木県市長会(鹿沼市長)  
 佐藤 良 栃木県議会議員  
 司城紀代美 宇都宮大学教育学部 准教授 [人材育成部会]  
 清水 和幸 一般社団法人栃木県銀行協会 会長【2020年7月～】 [産業・成長部会]  
 高橋 若菜 宇都宮大学国際学部 教授 [環境・地域部会]  
 谷黒 克守 一般社団法人栃木県建設業協会 会長 [安全・安心部会]  
 豊田 彩乃 ゲストハウス街音 運営者 [環境・地域部会]  
 中島 宏 栃木県議会議員  
 長島 徹 一般社団法人栃木県医師会 副会長 [健康・共生部会]  
 中田 和良 栃木県生活協同組合連合会 専務理事 [安全・安心部会]  
 中野 謙作 一般社団法人栃木県若年者支援機構 代表理事 [健康・共生部会]  
 沼田 一也 合同会社後沢農業クラブ 代表社員 [環境・地域部会]  
 野呂千鶴子 国際医療福祉大学保健医療学部 教授 [健康・共生部会(部会長)]  
 福田 雅章 栃木県児童養護施設等連絡協議会 会長 [人材育成部会]  
 藤井 昌一 一般社団法人栃木県商工会議所連合会 会長【2019年12月～】 [産業・成長部会]  
 藤澤 勝 栃木県農業協同組合中央会 参事 [産業・成長部会]  
 星野 光利 栃木県町村会(上三川町長)  
 増淵 正二 一般社団法人栃木県商工会議所連合会 会長【～2019年12月】  
 増淵 弘子 栃木県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 [安全・安心部会]  
 松下 正直 一般社団法人栃木県銀行協会 会長【～2020年7月】  
 三浦 一久 株式会社下野新聞社 編集局 地域センター長兼地域報道部長【2020年5月～】 [安全・安心部会]  
 宮下 陽子 栃木県自閉症協会 会長 [健康・共生部会]  
 横山 玲子 栃木県女性農業士会 会長 [環境・地域部会]

(役職等は、2021年1月現在又は委員在任時)

### 3 栃木県議会次期プラン検討会

(2019年度は栃木県議会次期プラン及び次期地方創生総合戦略検討会)

#### 委員一覧

2019年度	会 長	五十嵐 清
	副 会 長	中島 宏
	委 員	小池 篤史
	委 員	西村しんじ
	委 員	加藤 正一
	委 員	白石 資隆
	委 員	関谷 暢之
	委 員	日向野義幸
	委 員	渡辺 幸子
	委 員	保母欽一郎
	委 員	佐藤 良
	委 員	山形 修治
	委 員	螺良 昭人
2020年度	会 長	阿部 寿一
	副 会 長	佐藤 良
	委 員	平池 紘士
	委 員	高山 和典
	委 員	西村しんじ
	委 員	加藤 正一
	委 員	中島 宏
	委 員	日向野義幸
	委 員	保母欽一郎
	委 員	山田みやこ
	委 員	五十嵐 清
	委 員	五月女裕久彦
	委 員	早川 尚秀

## 4 県民意見の反映等

### (1) これからの“とちぎ”づくりに関する県民意向調査

望ましいとちぎの姿、とちぎの現状に対する評価、とちぎづくりへの参加などに関する意向を把握するため、平成31(2019)年1月及び同年2月に、満18歳以上の県民5,000人(回答2,807人)に対して、アンケート調査を実施しました。

### (2) 栃木県に関するイメージ調査

本県のイメージや愛着心、認知度、情報入手経路等を把握するため、平成31(2019)年1月及び同年2月に、満18歳以上の県民5,000人(回答2,807人)及び他県民3,000人(回答3,000人)に対して、アンケート調査を実施しました。

### (3) これからの“とちぎ”づくりに関する高校生意向調査

とちぎのイメージや地域への愛着、栃木県での居住意向、とちぎづくりへの参加に関する意向等を把握するため、令和元(2019)年6月に、県内の高校2、3年生1,200人(回答1,077人)に対して、アンケート調査を実施しました。

### (4) 就職や結婚観などに関する大学生アンケート調査

次代を担う若い世代の就職や結婚観などに関する意識等を把握するため、令和元(2019)年6月及び同年7月に、県内の8大学の3年生4,348人(回答2,216人)に対して、アンケート調査を実施しました。

### (5) これからの“とちぎ”づくりに関する県民意識調査

結婚観や家族観、子育て観、若者の県外転出などに関する意識を把握するため、令和元(2019)年7月から9月にかけて、県内に居住する18歳から50歳代までの男女(回答4,285人)に対して、アンケート調査を実施しました。

### (6) 今後の暮らし方に関するアンケート調査

東京圏居住者の本県への移住意向や行政に期待する移住支援策等を把握するため、令和元(2019)年7月に、同圏に居住する18歳以上の男女1,200人(回答1,200人)に対して、アンケート調査を実施しました。

### (7) 次期プラン等に関するエキスパート人材アンケート調査

東京圏一極集中の是正に対する施策や本県の強み、課題などを把握するため、令和元(2019)年6月に、各分野の専門的な知識を持ち地域で活躍するエキスパート人材64人(回答41人)に対して、アンケート調査を実施しました。

### (8) 次期プラン等策定に関する市町長意向調査

望ましいとちぎの姿、とちぎの現状に対する評価、市町の重点推進項目などに関する意向を把握するため、令和元(2019)年6月に、県内25市町長に対して、アンケート調査を実施しました。

### (9) 県民からの意見募集

第1次素案と第2次素案に対するパブリック・コメント(県民意見の募集)を実施し、お寄せいただいた御意見等をプランに反映しました。

### (10) 県民への情報提供

県のホームページなどを活用し、プランの策定状況等について情報提供しました。

## 〈参考〉 成果指標一覧

重点戦略		成果指標	現状値	目標値	目標値の考え方	
人材育成戦略	1	とちぎの未来を担う人材育成プロジェクト	1 全国学力・学習状況調査の各教科の標準化得点の平均値	2019年 小6(国語、算数)99.5 中3(国語、数学、英語)99.7	2025年 小・中学校で全国平均(100.0)を上回る	小・中学校それぞれで全国平均(100.0)を上回る
	2	笑顔輝く子ども・子育て支援プロジェクト	2 婚姻率(人口千人対)	2019年 4.5(全国15位)	2025年 上昇を目指す	とちぎ創生15戦略(第2期)に基づき、4.3から上昇させる
			3 保育所待機児童数(10月1日時点)	2020年 74人	2025年 0人	とちぎ創生15戦略(第2期)に基づき、2024年までに待機児童ゼロを目指す
	3	スポーツ推進、歴史・文化芸術振興プロジェクト	4 新体力テスト体力合計点の全国平均値との差	2019年 小5 男子▲1.17点 女子▲0.10点 中2 男子▲0.37点 女子 0.35点	2025年 小・中学校で男女とも全国平均値を上回る	小・中学校それぞれで男女とも全国平均値を上回る
			5 県内公立文化施設入館者数	2019年 67.0万人	2025年 70.0万人	過去3年間の平均を上回る
産業成長戦略	1	とちぎの明日を創る産業成長プロジェクト	6 製造品出荷額等	2018年 9兆2,111億円(全国12位)	2024年 現状値を上回る *	新型コロナウイルス感染症発生前の水準を上回る
			7 サービス産業の売上高	2018年 9兆1,213億円(全国18位)	2024年 現状値を上回る *	新型コロナウイルス感染症発生前の水準を上回る
	2	活力ある農業実現プロジェクト	8 農業産出額	2018年 2,871億円(全国9位)	2024年 3,200億円	現状値から10%以上増加させる
			9 林業産出額	2018年 107.1億円(全国12位)	2024年 135億円	現状値から25%以上増加させる
	3	観光立県躍進プロジェクト	10 観光消費額	2019年 7,054億円	2025年 現状値を上回る *	新型コロナウイルス感染症発生前の水準を上回る
	4	国際戦略推進プロジェクト	11 外国人宿泊数	2019年 24.7万人	2025年 現状値を上回る *	新型コロナウイルス感染症発生前の水準を上回る
12 農産物輸出額			2019年 3.11億円	2025年 10億円	とちぎ創生15戦略(第2期)を踏まえ、2025年に10億円を目指す	
健康長寿・共生戦略	1	人生100年健康いきいきプロジェクト	13 健康長寿高齢者の割合	2018年 91.4%(全国6位)	2024年 91.4%	後期高齢者の増加等を見据え、現状値の水準以上を目指す
			14 三大死因(がん・心疾患・脳卒中)による死者数(人口10万人対)	2018年 208.1人(全国45位)	2024年 186.5人	全国平均(2018年186.5人)を下回る
	2	生涯安心医療・介護プロジェクト	15 医療施設従事医師数(人口10万人対)	2018年 226.1人(全国34位)	2024年 全国31位以内	全国下位1/3から脱却を目指す
			16 介護職員数(要介護(要支援)認定者1万人対)	2018年 2,901人(全国35位)	2024年 3,201人	2025年の介護需要推計(3,228人)から算出
	3	多様な人材活躍推進プロジェクト	17 女性就業率(15~64歳)【事業所規模30人以上】	2019年 33.7%	2025年 35.0%	とちぎ創生15戦略(第2期)を踏まえ、35.0%以上を目指す
18 障害者の雇用率			2019年 2.07%(全国43位)	2025年 2.45%	法定雇用率(2.30)を2021年に達成し、さらに上昇させる	
4	誰一人取り残さない地域共生社会づくりプロジェクト	19 困ったときに、家族・親族以外で相談できる場所(相手)がない県民の割合	2019年 10.6%	2025年 減少を目指す	現状値から減少させる	
安全・安心戦略	1	危機対応力強化プロジェクト	20 避難情報(5段階の警戒レベル)を理解している県民の割合	2020年 30.5%	2025年 60.0%	避難行動の中心的役割を担う県民の割合から算出
	2	県土強靱化プロジェクト	21 令和元年東日本台風による河川の被災箇所の復旧率	2019年 0%	2025年 100%	改良復旧事業を含め、すべての被災箇所の復旧完了を目指す
	3	暮らしの安全・安心向上プロジェクト	22 交通事故死者数	2019年 82人	2025年 75人	現状値から年1人以上減少させる
			23 刑法犯認知件数	2019年 11,155件	2025年 8,000件	現状値から25%以上減少させる
地域・環境戦略	1	ふるさとの魅力向上プロジェクト	24 都道府県間人口移動数(日本人)	2019年 ▲3,518人	2025年 ▲1,759人	とちぎ創生15戦略(第2期)を踏まえ、現状値から半減を目指す
	2	暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト	25 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う県民の割合	2020年 70.9%	2025年 76.0%	過去5年間の最高値(2019年76.0%)を上回る
			26 鉄道・バス等の利用者数	2018年 23.6万人/日	2024年 現状値を上回る *	新型コロナウイルス感染症発生前の水準を上回る
	3	環境にやさしい持続可能な地域づくりプロジェクト	27 温室効果ガス排出削減率(2013年比)	2017年 4.8%	2023年 15.0%	県の温室効果ガス排出削減目標(2030年26%)から算出
4	未来技術を活用した新しいとちぎづくりプロジェクト	28 未来技術の活用による地域課題の解決・改善事例数	2020年 -	2021-2025年(累計) 10件	とちぎ創生15戦略(第2期)を踏まえ、5年間で10件以上を目指す	

\* 新型コロナウイルス感染症の状況や影響を踏まえ目標値の見直しを行う。